

よどじん

机の上にずらりと並べられた金属加工品。大小様々で、どれも個性豊かな作品ばかり。飾り物のミニチュア建物や、実用的なキャンドルスタンドなど色々な作品。その一つひとつに作者の遊び心が表れ、よく見るとどれも細部まで丁寧な加工が施されている。作品を子どものように無邪気な瞳で見つめ、細部へのこだわりを話してくれるのは、三津屋南3丁目にある

金属加工業 「株式会社エイトテック」 木下一郎さん



大好きなものづくり

板金・溶接など金属加工の仕事に携わる木下さんの一日は、朝食後の河川敷ランニングから始まる。朝8時15分の出勤時刻までにひと汗かき、4人の子どもの手を振り、入社。現在39才。高校・大学とラグビー部に所属し、今も仕事の合間に続ける筋力トレーニングでその体力は衰え知らず。数ある趣味の一つはマラソンで今年の大阪マラソンにもエントリー。「ハズレちゃいましたけどね(笑)」

幼いころから、学校の工作やプラモデル作りが大好きだった木下さん。ずっと大好きな「ものづくり」の技術が、一家を支える力に変わった。

挫折と出会い

しかし、ここまで順風満帆にやってきたわけではない。大学選択時、技術系の将来に望みをかけるも、成績があと一歩伴わず、理系から文系へ方向転換。

卒業後は、防火素材の開発など、何とか技術系の仕事に従事。しかし、なかなか正社員としての定職につけずにいた。そんなある日、街で何気に手に取った求人誌のコメントに目が届く。

「ものづくりが好きな方募集します」
迷わず問い合わせた。

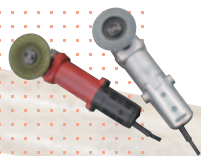
専門家は要らない

エイトテック創業者であり現社長の木村さんは言う。

「うちは研究所ではない。依頼主・顧客の様々なニーズに、皆で知恵を絞り、柔軟な発想と、多彩な技術力で応える。凝り固まった専門家は要らない。欲しい人材は、ものづくりが好きなやつ。」

今年で入社15年目を迎えた木下さん。ものづくりにかける情熱、真摯な態度は社内でも定評があり、信頼も深い。

趣味 ≧ 仕事



◀ 入社当時は手を振り返り談笑する木下さんと木村社長

▼ 木下さん手作り作品の数々「立体的でキレイな曲線を描いた作品作りが好きなんです」

